

— ご相談窓口 —

日 時	月～金曜日 9:00～17:00 ※土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休診日です。
場 所	本館1階 ⑫地域医療サービスセンター
連絡先	06-6131-3338（直通）

— 交通アクセス —



大阪市北区扇町にあり、
JRや地下鉄大阪メロで
アクセス可能な病院です

- JR各線 大阪駅から徒歩13分
- JR大阪環状線 天満駅から徒歩7分
- 地下鉄大阪メトロ 堺筋線 扇町駅から徒歩5分
- 地下鉄大阪メトロ 谷町線 中崎町駅から徒歩5分



〒530-8480 大阪市北区扇町2丁目4番20号
TEL: 06-6312-1221 FAX: 06-6361-0588
<https://www.kitano-hp.or.jp/>



医学研究所北野病院 がん診療センター

Kitano Hospital
Cancer Treatment Center



公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

センター概要

● センター長あいさつ

がんは日本人にとって死亡の原因の第 1 位であり、現在の高齢化社会において生涯にがんにかかる頻度はおよそ 2 人に 1 人といわれています。近年のがん診療の進歩はめざましく、新しい治療法や薬剤が次々に開発されるとともに、予後も大きく改善しています。その一方で、治療の多様化に伴い、高度な専門性と同時に、診療科や部門の垣根を超えた総合的・横断的な診療体制が求められており、実際のがん治療のみならず、緩和ケア・がん相談・就労支援・リハビリ・栄養指導・遺伝カウンセリングなどがん診療に関わる全ての部門において、多職種によるチーム医療が必要とされています。

当院は大阪府がん診療拠点病院としてがん診療を病院の中核事業の一つと位置づけ、診療の充実、質の向上に取り組んでいます。その一環として最新の放射線治療機器（リニアック、密封小線源）を導入した放射線治療センターの開設、化学療法センターの移転拡張、緩和ケアセンターの設置などを順次進めてきました。がん相談支援センターでは、がんに関する様々な情報を患者さんに提供して、いろいろな悩みや相談をお聞きしながら、より良い方法を見つけるお手伝いをさせていただいています。そして、より多くの患者さんにご利用いただけるように、相談室を 5 階から 1 階に移転しました。

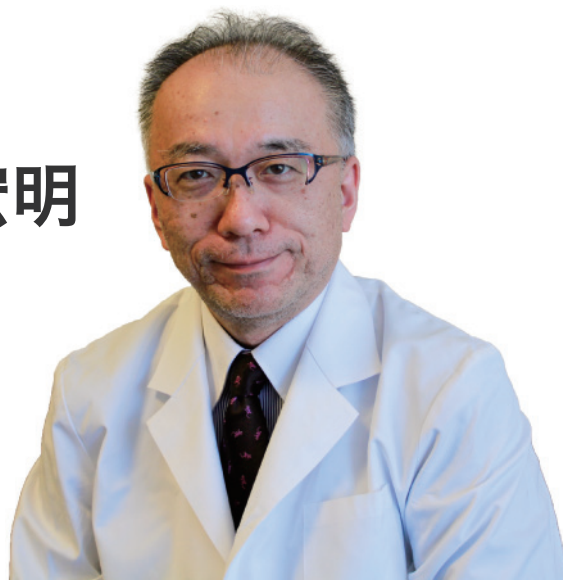
北野病院では、これら各部門が横断的に協力してがん患者さんを身体的・精神的・社会的に幅広くサポートするために、がん診療センターを設置しています。これからも患者さんとそのご家族の方々のさまざまな苦痛や悩みに誠実に対応できるよう努めてまいります。病気に対する不安や心配事がございましたら、遠慮なく相談窓口や職員にご相談ください。

がん診療センター長
副院長
消化器外科主任部長

寺嶋 宏明

● ご相談窓口

日 時	月～金曜日 9：00～17：00 ※土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休診日です。
場 所	本館 1 階 ⑫地域医療サービスセンター
連絡先	06-6131-3338



● 化学療法センター

通院で抗がん剤治療を行う専門の部門です。リクライニングチェア 21 台とベッド 5 台を備え、医師、看護師、薬剤師がいます。抗がん剤治療を通院で行うことにより、日常生活を送りながら治療が継続できるようになりました。私たちは、化学療法を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるように通院治療中における、さまざまな心配事（薬の副作用）や不安（生活面）、疑問に思っている事などを支援します。遠慮なく看護師にご相談ください。

受付日	月～金曜日（予約制）
場 所	本館 6 階 化学療法センター



● 放射線治療センター

放射線治療センターでは最先端の治療機器を揃えて、各診療科と連携して高精度放射線治療を提供します。

- 強度変調放射線治療（腫瘍の形に合わせて照射）
- 画像誘導放射線治療（治療直前に治療ベッド上で X 線画像や CT 画像を取得、位置補正を行い正確に照射）
- 肺がんや肝臓がんに対しての体幹部定位放射線治療（ピンポイント照射）
- 呼吸性移動がある腫瘍に対して動体追跡照射
- リモートアフターローディングシステム（RALS）を用いた小線源治療



● 緩和ケア科

北野病院では、がん患者様やご家族様の身体的・精神的な苦痛を緩和し、できる限り良好な QOL（Quality of Life、生活の質）を実現することを目指して、緩和ケア科を開設しています。がんの治療中や治療後では、病気のことやこれからの生活について様々な不安が生じることがあります。緩和ケア科では、そうした方に定期的に受診していただくことで、様々な不安をやわらげることができます。



● 院内がん登録

当院は、2009 年 4 月に大阪府から「大阪府がん診療拠点病院」の指定を受け、院内がん登録の取り組みを行っています。

院内がん登録とは、「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、当院で診断または治療された全てのがん患者さまの診断・治療・予後に関する情報を登録する制度です。この情報は、「当院のがん診療の実態把握および診療の質の向上」、「患者さま、ご家族の方の支援」を目的とした以下の活動に活用しております。

- 病院の対がん医療活動の企画、評価のための資料提供
- 診療活動の支援、研修、教育のための資料提供
- がん患者の受療状況の把握
- 院内がん患者の生存率の計測
- 臨床疫学研究の支援
- 院内がん患者の継続受診支援
- 国や大阪府などへの届出



関連紹介

● がん相談支援センター

病気になると、体のことだけでなく、様々な悩みや不安が出てくる場合があります。そんな方のために、当院ではがん専門相談員として研修を受けたがん領域の認定・専門看護師や医療ソーシャルワーカーが常時相談対応できる体制となっています。

またこの度、患者さんがさらにゆっくりとがん相談やがん情報の閲覧ができるよう、2024年2月1日より、がん相談支援センターを拡張オープンしました。検索コーナーやアピアランスケアコーナーを開設しましたので、ぜひお気軽にご利用ください。



● ご相談内容の一例

- 検査、治療、副作用のこと
- 不安や気持ちのつらさ
- 医療費や経済的な支援のこと
- 療養生活の過ごし方
- がん治療と仕事の両立について
- 家族や社会との関わり
- 緩和ケアについて
- 外見の変化への対応について
- がん治療と妊孕性について
- 医療者とのコミュニケーションについて

● がん情報室・検索コーナー

がん情報室にはがんに関する書籍やパンフレットを設置しています。また、検索コーナーには、がん情報を自由に検索いただけるパソコンを設置しており、プライバシーが確保された環境で情報収集していただけます。



● アピアランスケアコーナー

アピアランスケア（薬物療法などで生じた外見の変化に対するケア）に関する各種パンフレットに加え、ウィッグ、ケア帽子、ネイルなど、実際試すことができるものも用意しています（販売はしていません）。



● その他のご案内

がん患者サロン「ほっこり会」

がん患者さん同士で遠慮なく話ができる、患者さんのための会です。がんサバイバーの患者ボランティアも参加しています。ぜひお気軽にご参加ください。すので、ぜひお気軽にご参加ください。
▶ 毎月第2月曜日に開催（祝日の場合は第3月曜日）

がん患者対象各種教室

現在準備中です。

<がん相談支援センター>

日 時	月～金曜日 9：00～17：00 ※土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休診日です。
場 所	本館1階 ⑮がん相談支援センター
費 用	無料
連絡先	06-6131-2555（直通）



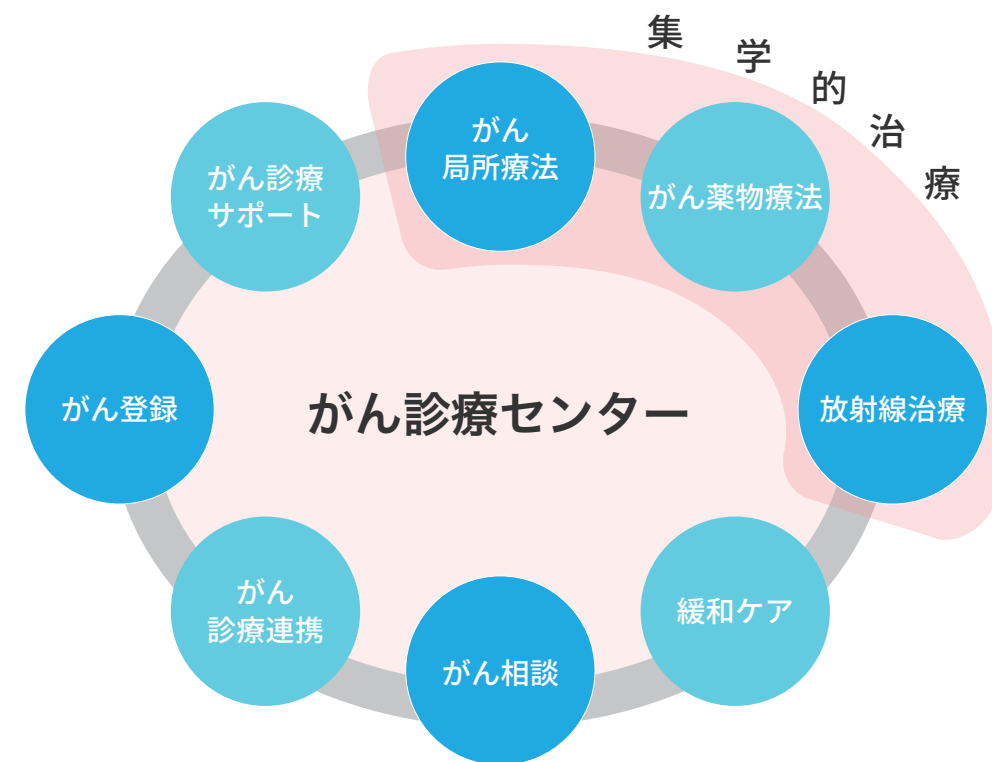
● がん診療センターの取り組み

「医学研究所附設の臨床病院」として、安全で先進的ながん治療に、チームで取り組みます。

- 科学的根拠に基づく、安全で最善のがん治療を提供します。
- 多職種の医療チームが、多角的にがん治療をサポートします。
- がん相談や情報提供の体制を整え、患者さんやご家族を支援します。
- 緩和ケアチームが、身体的、精神的苦痛の緩和に努めます。
- 住み慣れた地域での生活を支えるために、かかりつけ医や介護事業者などとシームレスな連携を行います。
- 京都大学とともに、がん診療の発展を目指し、研究・教育・研修に努めます。

● がん診療体制

がん診療センター長を中心として、がん診療にかかわる院内の各部門が連携して患者さんへ高度な治療を提供します。



がん局所療法	外科的切除、内視鏡治療、血管内治療、焼灼療法など
がん薬物療法	化学療法センター及び各診療科での薬物療法
放射線治療	リニアック、ハイパーナイフを用いた放射線治療
緩和ケア	多職種による身体的、精神的苦痛の緩和
がん相談	がん専門相談員による相談支援、がん情報室での情報提供
地域医療連携	かかりつけ医や地域の医療機関との連携、介護事業者などとの連携
がん登録	院内がん登録の実施
がん診療サポート	チーム医療（緩和ケア、がんリハビリ、遺伝性疾患、栄養サポート、口腔ケア等）

チーム紹介

がん診療センターにはこれらの3チームが配属されており、様々な面からのサポート体制を整えています。

● 緩和ケアチーム



当院の緩和ケアチームは医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・臨床心理士など多職種から構成されています。

がんの診断時からあらゆる時期において、がんそのものや治療に伴う身体的苦痛や副作用、精神的・社会的な不安などの悩み・つらさを和らげ、患者さまとご家族さまの Quality of life（生活の質）を維持・向上させ、「その人らしく過ごせること」を目標に、多くの職種が互いの知識・経験を共有し、専門性をもって主治医や病棟スタッフと協働し、活動しています。

週1回緩和ケアチームカンファレンス・病棟ラウンド(回診)を行い、苦痛症状の緩和及び、患者さまとご家族さまがその人らしい生活を送れるよう、主治医・病棟スタッフと連携しながら調整を行っています。

緩和ケアを必要とする外来患者さまにはがん相談支援センターで面談を行い、入院から外来診療と継続した緩和ケア体制の構築に努めています。

● がんリハビリテーションチーム



がん患者さんは、がんやその治療によって体力が低下し、日常生活に支障をきたすことがあります。がんリハビリテーションは、がんと診断された直後から、各治療や病期に応じたリハビリテーションを展開して、がん患者さんの日常生活の質をできる限り維持・向上することを目的としています。

当院では、指定の研修会を受講したスタッフを中心に、がんのリハビリテーションを実施しています。

2015年9月、がん患者に対するリハビリテーションなどの医療の質向上を目的として、「がんリハビリテーションチーム」が発足しました。当チームでは、がん患者に対するスタッフの知識向上を図るため、院内勉強会の開催を始めとして、他チームとの協同や研修会参加の推進などを通じ、院内のがんのリハビリテーションの拡充を進めています。



言語聴覚士

作業療法士

理学療法士

遺伝カウンセラー

ソーシャルワーカー

医師

事務員

臨床心理士

管理栄養士

薬剤師

看護師

多職種で患者さんを支えます

● 遺伝性疾患サポートチーム



われわれ遺伝性疾患サポートチームは、私たちの体の設計図である遺伝子や染色体に生まれつきの変化を持っていることが原因で病気を発症しやすい体質をお持ちの方やそのご家族のサポートを行っております。

このような遺伝子や染色体の変化は全身の細胞で起きているため、一つの診療科だけではなく複数の診療科が連携して診断や治療、診断後のフォローアップなどを含めた遺伝診療を行う必要があります。当院では認定遺伝カウンセラー（遺伝カウンセリングを専門にする医療者）を中心に多くの診療科の医師、さらに認定看護師、臨床心理士、臨床検査技師が連携をとりチーム医療を行っています。

また、遺伝性疾患サポートチームが関わる診療では患者さんだけではなく血縁者の方々にも関わる可能性があるため、認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングを通して、遺伝医療に関わる様々な情報提供や患者さんが希望された場合の遺伝学的検査の体制整備、その後のフォローアップなどをチーム一丸となって実施しています。

その他、以下のチームなどと密に連携しています。

● 栄養サポートチーム（NST）



当院の栄養サポートチーム（NST）は、入院患者様が病状や治療のために十分な栄養が経口摂取できない場合などの適切な栄養補給の提案、手術などの術後合併症予防のため、術前からの計画的な栄養管理の提案など行っています。

● 口腔ケア嚥下リハビリチーム



口腔ケア・嚥下リハビリチームは食事摂取が困難な入院患者様を対象とし、食べる喜びを支えるための専門医療チームとして活動しています。歯科医師・歯科衛生士と共に病棟ラウンド（回診）を行い、患者様の嚥下機能評価、口腔ケア、食事形態や姿勢調整およびその指導を行っております。